

【日本文化紹介報告書】

1. 概要

日時：2019年5月4日（土）9時～14時

場所：キचे県ウspanタン市 市役所前中央広場

主催者：JICA 協力隊員

2. 内容

（1）パフォーマンス等

9時からの開催と早めのイベント開始であったにも関わらず、前日の宣伝効果もあってか朝から中央公園には大勢の人が集まってくれました。ウspanタン市長、山口 JICA 所長の挨拶に続き、オープニングとして「恋するフォーチュンクッキー」を浴衣姿の隊員が踊り、そこに国家文民警察（PNC）のキャラクターも飛び入り参加して日本文化紹介が幕を開けました。日本人学校の戸田校長先生による書道パフォーマンスの後、トウモロコシ踊り（大根踊りのアレンジ版）、手品、ソーラン節が披露されました。

日本人と異文化の物珍しさからか、小さな子供から年配の方まで、観客は正午にかけてどんどん膨れ上がり、多い時で500名を超えるほどになりました。



(2) 日本食販売¹と着付サービス等

日本食の販売（大学芋、すいとん汁、ちらし寿司、焼き鳥）、書道（名前を漢字で書くサービス）、浴衣の着付けを行いました。書道は 300 枚、食事は合計 500 食以上を販売しました。浴衣の着付けは、特に女の子の希望が多く、浴衣姿を記念写真に納めようとスマホで写真を撮る人の姿が目立ちました。



(3) 写真展と PNC の協力

今年は JICA ボランティア派遣 30 周年記念イヤーであるため、写真展を同時開催しました。異なる職種や任地の写真 15 枚を市役所前のテントで展示し、沢山の方が足を止めて見てくれました。興味をもった方にはボランティア事業の説明リーフレットを渡し説明を行いました。今後も全国各地で写真展を開催する予定です。

また、今回のイベントには多くの子供たちが来場することを見込んで、PNC の防犯副

¹ JICA 隊員の有志による文化紹介であり、売上金は、食材、紙等の購入代に充てられました。

総局の協力の下、警察官の着ぐるみキャラクター2体、お城のふわふわ、トランポリンを首都から運んでもらい設置した他、警察官自らバルーンアートで子供たちと触れ合いました。PNC 本部、キチエ県都警察署から総勢 15 名程の警察官が応援出張で参加し、JICA とのプロジェクトの宣伝を兼ねて地域警察活動が無償で行ってくれました。



(4) その他

事前に声を掛けていた当地主要紙である Prensa Libre の記者も当日は朝からイベントに駆けつけてくれ、浴衣姿の JICA 隊員の集合写真を撮った他、山口所長や JICA 隊員へのインタビューも行ってくれました。

ウスパンタン市は、2013～2016 年まで地方行政プロジェクトを行っていたパイロット市でもあるため、市長や副市長の JICA 事業に対する理解もあり、今回のイベント開催にも大いに協力して頂きました。同市役所に配属の金森隊員（家政・生活改善）や同市保健センター配属の茂隊員（助産師）が中心となり調整を進めてきた今回の文化紹介は、ウスパンタン市のお祭り期間に合わせたことで、予想を遥かに超える来場者があり、地方に住む多くのグアテマラ人に日本文化や JICA 事業の発信ができました。



以上